



盤面印刷 ジャケット印刷 のご案内

盤面印刷はお客様によるデータ入稿前提でお値段の設定をしています。
ジャケット印刷をご希望の場合も同様です。

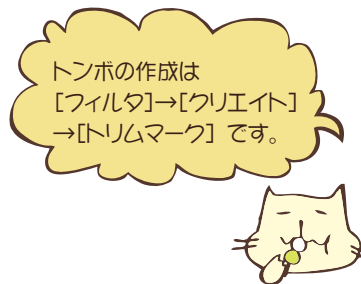
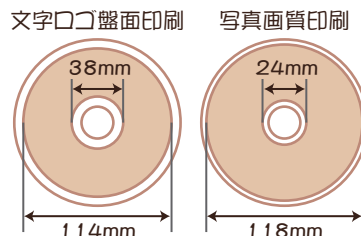
パソコンのOS/アプリケーション

MacまたはWindowsで。最終の形式をIllustratorまたはPhotoshop
になるようお作りください。

盤面サイズ・トンボ・塗り足し

盤面の印刷範囲は、「文字ロゴ盤面印刷」の場合、
直径114mmサイズの円の中央に直径38mmの空
きが入り、「写真画質印刷」の場合は直径118mm
サイズの円の中央に直径24mmの空きが入る形に
なります。

原稿は正方形のデータでも構いません。補助レイヤー
なども含めていただいても結構です。
Photoshopデータの場合、トンボは不要です。
Illustratorデータの場合は、トンボを作成してくだ
さい。トンボが作成されていない場合、弊社で調節
することになります。
ドーナツ状のトリミングは不要です。
断ち切りの画像は、天地左右それぞれに3mmの
塗り足しを作ってください。



画像解像度

カラー原稿は300dpiで作成してください。グレースケール原稿の場合は300dpi、
モノクロ2階調の場合は600～1200dpiで作成してください。
携帯電話で撮影した300dpi以下の写真データもお受けしますが、全面印刷する
と仕上がりが荒くなります。デザインを工夫すれば美しい仕上がりになりますので、
ご相談ください。

画像モード

基本的にはCMYKモードで作成する(色を塗る)のが安全です。
RBGモードで作成した場合でも、CMYKモードに変換してご入稿ください。RBG
モードをCMYKに変換しますと色調が大きく変わりますのでご注意ください。

保存・ファイル形式

Illustratorで作成した文字は、必ず『アウトライン化』しておいてください。
Photoshop5.0以降は文字のラスター化を行ってください。
保存形式は、Illustratorの場合「ai」形式、
Photoshopの場合は「psd」形式をおすすめします。
Illustratorへ配置した画像は必ず添付してください。



サービス内容による盤面印刷の仕上がりの違い

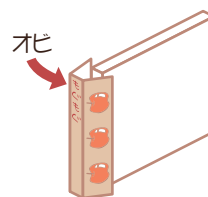
盤面印刷方法は、文字やロゴに最適な「文字ロゴ盤面印刷(単色・多色)」と、
写真画質に最適な「写真画質(フルカラー・モノクロ)印刷」の2種類を用意
しております。
<印刷用機器> Rimage EverestII, Prism Plus

「文字ロゴ盤面印刷(単色)」で使用できる色は、黒・青・赤の3色です。「文字
ロゴ盤面印刷(多色)」では、赤・青・黄の3色が美しく印刷できます。だいたい
緑・紫などのかけ合わせの色は、ドット(アミ点)で表現されますので、なめら
かな仕上がりをご希望の方は「写真画質印刷」をお選びください。
一色ベタ面の多い背景は、色ムラや印刷ムラ等が発生しやすいため、「写真画質・
フルカラー印刷」をおすすめします。黒や紺などの濃色一面ベタは割増料金をい
ただきます。

ジャケット印刷

コストパフォーマンスに優れたおすすめフロントジャケットは
縦120mm×横120mmサイズの片面のみの印刷です。

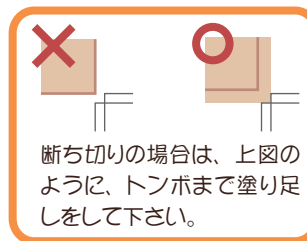
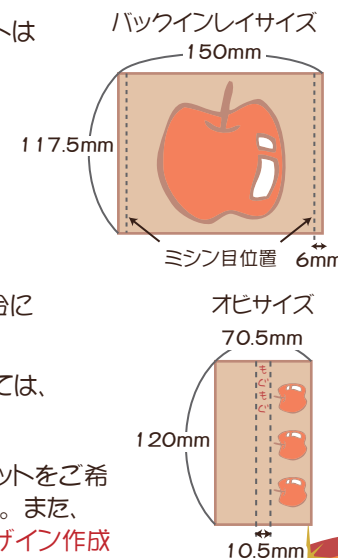
バックインレイは右図サイズ片面印刷
(ケースの外側が印刷面になります)
両面印刷も可能です。



オビは片面印刷が基本です。

バックインレイ、オビとも
10ミリプラケースをご利用の場合に
使用できます。

データ作成の注意事項につきましては、
盤面のデータのものと同様です。



ブック形式などのジャケットをご希
望の方はご相談ください。また、
弊社にてジャケットのデザイン作成
も承っております。
こちらもお気軽に
ご相談ください。

